

水稻情報

(第7号)

平成 28 年 8 月 24 日
あおば農業協同組合
各地区農業技術者協議会

- 今年はお穂期が早いことから、収穫時期も平年より早まっています。
- 圃場ごとに籾の黄化状況を確認し、適期収穫に努めましょう。
- 適切な乾燥・調製で、胴割米等による品質低下を防ぎましょう。

1. コシヒカリの刈取りは遅れずに！

～胴割米に注意！～

- (1) 籾の黄化状況を必ず確認し、黄化率 85% から収穫を始め、適期内に収穫を終えましょう。
- (2) 砂壤土や枯上がりの早いほ場から収穫を始め、刈遅れによる胴割米の発生を防ぎましょう。

表1 出穂期からみた刈取適期の目安

| 出穂期 | 7/30日頃(移植コシヒカリ) | 8/3日頃(てんこもり) |
|------|-----------------|--------------|
| 刈取始期 | 9/6日頃～ | 9/14日頃～ |
| 刈取晩限 | 9/10日頃 | 9/19日頃 |

※成熟期が高温の場合、刈取適期幅が短くなるので注意しましょう。
※実際の刈取りは、各地域の「刈取適期表示」(刈取始期を表示)を参考にしてください。

◎直播栽培についても、刈遅れによる胴割米発生に注意しましょう！

点線内の籾が黄化したときが、黄化率85～90%程度です。



(枝梗が9本程度の穂を3～4本調査)

2. 刈取り1週間前まで間断かん水を！

～最後まで稲の活力を維持しましょう！～

- (1) 刈取りの5～7日前までは、「間断かん水」を行い、胴割米の発生を防止しましょう。
※フェーン等の高温が予想される時は、事前に入水しましょう。
- (2) クサネム・ヒエ等の種子混入につながる雑草は、収穫前に、必ず抜き取りましょう。



クサネム

3. 適正な乾燥で過乾燥米を防ぎましょう！

～玄米水分は確実に14.5～15.0%に！～

【乾燥作業の留意点】

- (1) ヤケ米の発生防止のため、刈取った籾は4時間以内に乾燥機に張り込み通風しましょう。
- (2) 乾燥前に、2～3時間程度の常温通風循環を行いましょう。
- (3) 乾燥ムラを出さないために、二段乾燥(籾水分が17%台になったら一時中断し、水分を均一にする)を行いましょう。
- (4) 青米の混入程度を確認し、表2を参考に乾燥機の停止水分を設定しましょう。

表2 乾燥機の停止水分判定の目安

| 100粒中の青米数 | 乾燥機の設定停止水分 | 乾燥機停止後の水分変化 |
|-----------|------------|-------------|
| 0～5粒 | 15.0～15.5% | 乾く (-0.5%) |
| 6～10粒 | 14.5～15.0% | ほとんど変わらない |
| 11粒以上 | 14.0～14.5% | もどる (+0.5%) |

※玄米水分が17%を切ったら、手動水分計でこまめに測定しましょう。

【調製作業の留意点】

- (1) 籾摺りは、乾燥後2～3日置いて玄米水分を均一にしてから行い、肌ずれ米の発生を防ぎましょう。
- (2) 選別は1.9mmの篩目を使用するとともに、機種ごとの適正流量を守り、完全粒歩合を高めましょう。



こんなことにならないよう気をつけてくださいね！



胴割米

※米卸業者からは、軽微な胴割れも防ぐことが求められています！！

とやまGAPの実践 「事前点検でコンバイン事故等を防ぎましょう！！」
秋の農作業安全運動 8月20日～10月20日

うら面に続く

29年産米に向けて！ 美味しいあおば米は、まず土づくりから！！

1. 土づくり資材の散布

～土づくり資材は継続して散布しましょう！～

- (1) アルカリ成分を含むケイ酸質資材を毎年、確実に適量を施用しましょう。
- (2) 土壌 pH が低いとカドミウムが吸収されやすくなることから、土壌 pH は 6.0～6.5 を目標に改良しましょう。
- (3) 籾殻、わらはは重要な土づくり資源です。燃やさず鋤き込みましょう。
- (4) 営農組織や集落単位で、効率的な土づくりに取り組みましょう。

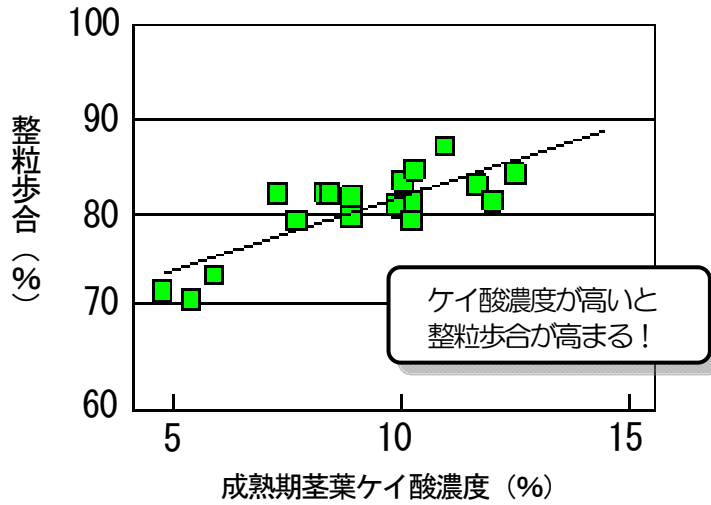
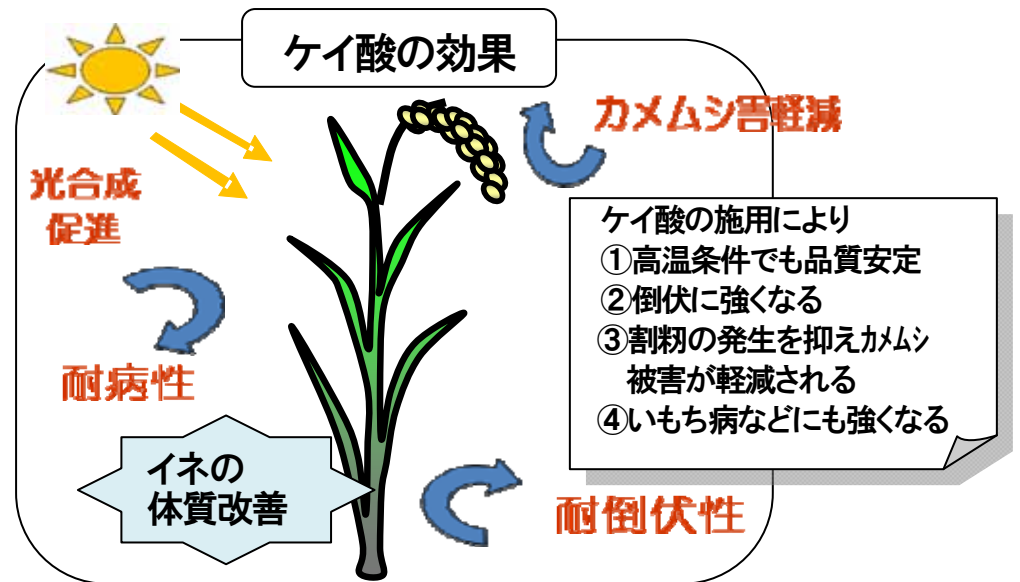


図1 成熟期の茎葉のケイ酸濃度と整粒歩合の関係



【土壌改良(ケイ酸&アルカリ分)資材の施用の目安】

JA あおばでは、ケイ酸質資材の購入代金に対して、5%の助成があります。是非ご活用ください♪

| 資材名 | 施用量 (kg/10a) | 主成分 | ポイント |
|------------------------------------|--------------|---|-------------------------|
| あおばスーパーケイサン+ <small>プラス</small> | 90 | ケイ酸 42.5%、アルカリ分 25.6% (分析例) | ケイ酸含有量が高く、pH も矯正。 |
| シリカロマン | 100 | ケイ酸 25%、アルカリ分 45%、燐酸 5%、鉄 5%、苦土 7% | ケイ酸、燐酸を補給、pH 矯正効果高い。 |
| 米取けいさん鉄 | 100 | ケイ酸 24%、アルカリ分 36%、燐酸 2%、鉄 8%、苦土 3% | ケイ酸、鉄を補給、pH も矯正。 |
| あおばフミンエース | 100 | ケイ酸 20%、アルカリ分 25%、燐酸 4%、鉄 6.7%、苦土 2%、腐植酸 8% | ケイ酸他腐植を含む、各成分をバランスよく配合。 |

2. 有機物の施用

～有機物の補給で地力を向上しましょう！～

- (1) 牛ふん、豚ふん、籾殻堆肥や発酵鶏ふんの施用に努めましょう。
- (2) 堆肥が確保できない場合は、地力増進作物を作付け鋤き込みし、腐植を増やしましょう。

【堆肥】(秋施用)

| 堆肥名 | 施用量(10a 当り) |
|-------|-------------|
| 牛ふん堆肥 | 1～2t |
| 豚ふん堆肥 | |
| 籾殻堆肥 | 2t |
| 発酵鶏ふん | 75～105kg |

【地力増進作物】(秋播き)

| ＜ヘアリーベッチ＞ | |
|-----------|------------|
| 品 種 | 晩生品種 |
| 播種時期 | 9月下旬～10月上旬 |
| 播種量 | 4～6kg/10a |
| 鋤き込み時期 | 4～5月 |

転作(大豆、ニンジン等)の前作におススメ！！



ヘアリーベッチの鋤き込み

3. 深耕で作土層を拡大

～根を深く伸ばし、稲の活力を向上！～

- (1) 耕起時は、トラクターの作業速度を落とし、作土深 15 cm 以上を確保しましょう。
- (2) 秋耕後は、排水溝(深さ 20cm 以上)を設置し、排水口と連結しましょう。

※富山県土づくりにスローガン※

いざ土づくり！
美味しい富山を届けよう！



秋の土づくり運動

期間 9月15日～11月15日